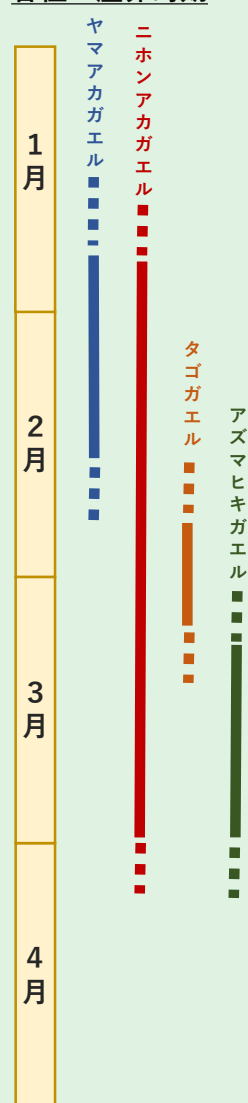


寒い冬でも観察できるカエル達

両生類には冬に産卵する種がいます。今号では、冬から春にかけて産卵する**カエル**達の中から、県内で見られる日本固有の4種を紹介します。産卵現場を観察することは難しいですが、産み終えた卵塊は目立つため観察しやすいです。種名横の記号は千葉県レッドリストのランク、写真上段の数値は体長、写真下段は撮影者の団員番号です。

各種の産卵時期



ヤマアカガエル (アカガエル科) ランクC



房総丘陵を中心にして、県南部に分布する。ニホンアカガエルと比べ、より森林内に近い水田で産卵する。ニホンアカガエルと同様に、圃場整備により減少している。

ニホンアカガエル (アカガエル科) ランクA



水田などで見られる。もともと千葉県内のほぼ全域に分布する普通種であったが、各地で進行した圃場整備により、急速に個体数が減少してしまった。

タゴガエル (アカガエル科) ランクB



県内では房総丘陵と安房丘陵の2地域に生息し、他のアカガエル類と比べ分布域は狭い。伏流水が湧き出る溪流の崖の穴等で繁殖する。

アズマヒキガエル (ヒキガエル科) ランクC



低地から山地までの様々な環境に生息する。都市部でも見られることがある。眼の後方に毒を分泌する腺があるため、観察する際には注意が必要。

産卵時期には地域差があるため、あくまで目安です。

古典文学と里山の生き物たちの世界



第十一回 アシハラガニ

Helice tridens 十脚目モクズガニ科

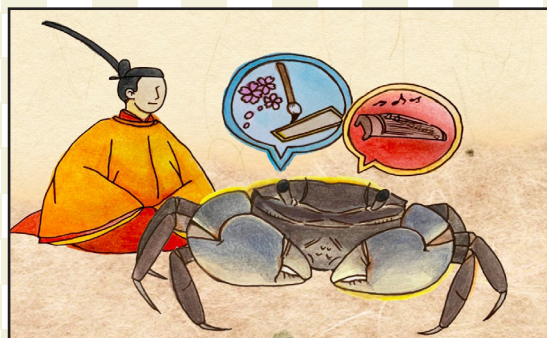
詩人 大島 健夫

日本の古典文学には、様々な生き物たちが様々な形で登場します。かつてこの国の人々はどのように生き物とかかわり、その姿に何を見ていたのでしょうか。この連載では、生物多様性センターに勤務している、ポエトリー・スラム W 杯日本代表詩人の大島健夫が、^{いのち}生命のにぎわい調査団の皆様を過去の世界にご案内します。

『万葉集』の巻第十六に、「^{ほかいびと}乞食者の詠」と題された、奇妙な長歌が二首、収録されています。その一種は蟹の歌、もう一首は鹿の歌で、それぞれ、蟹と鹿が一人称で、人間に殺されてゆく様を自ら淡々と語るという、シュールで不気味な内容です。このうち、蟹の歌の主人公は難波の江に庵を結んで隠れている「葦蟹」となっています。これはおそらく、アシハラガニのことでしょう。河口の汽水域や干潟に生息するカニで、一生の間、海から遠く離れずに暮らしています。干潟の縮小や環境の悪化に伴い、千葉県のレッドリストでは、D ランク（一般保護生物）として記載されています。

歌は、この葦蟹が、^{おおきみ}大君（天皇のこと）に召されるところから始まります。召された蟹は思います。いったい何のために私を召すのだろうか、歌人として召されるのだろうか。笛吹として召されるのだろうか、それとも琴弾きとして召されるのだろうか、と。しかし、都に到着した蟹を待ち受けていたのは過酷な運命でした。蟹は縄でくくられて吊るされ、塩漬にされてしまうのです。歌は、目玉にまで塩を塗られた蟹の、「（大君が私を）ご賞味なさいます、ご賞味なさいます」という、まるで感情移入を拒否したかのような、ほとんど実況中継のようなモノローグで幕を閉じます。

ちなみに鹿の歌の方も、最後には鹿の角は飾りに、耳は墨壺に、毛は筆に、肉はなますに、という具合に、文字通りあますところなく利用されてしまうのですが、鹿の場合は、自分からその身を大君に捧げようとしているところが蟹と異なっています。作者である「乞食者」とは、どのような人物だったのでしょうか。この時代の「乞食」とは、現在とは異なり、芸能で日々の糧を得る人々のことを指していたようです。歌の中の蟹のように、歌や笛や琴での立身を夢見つつ、理不尽に命を奪われた「乞食」たちも多かったのかもしれません。



作 石田 理紗

<これからの季節に観察できる生きもの>

○調査対象種：イタチ、キジ、アカガエル類（卵）、
トウキョウサンショウウオ（卵）

○調査対象種以外

* 渡りのシギ・チドリ類、コガモやトモエガモなどのカモ類

* ホソミイトトンボやカメノコtentウなどの越冬する昆虫類

調査対象種以外は種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします。

「生命のにぎわい調査フォーラム」のご案内

生命のにぎわい調査フォーラムを開催します。調査団員の活動報告や写真コンテストを行いますので、多くの方のご来場をお待ちしています。

日時：令和3年3月7日（日） 14時～16時30分

場所：千葉市文化センター 5階セミナー室

定員：先着70名・参加無料（事前登録が必要です）

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止や延期等、開催内容に変更が生じる場合があります。予めご了承ください。

同時開催！ 生命のにぎわい写真コンテスト

詳細は当センターのホームページやチラシをご参照ください。